

平成 29 年度「信太山里山講座」第 1 回の実施報告

④「信太山里山講座」第 1 回

- 実施日：7月9日（日）
- 時 間：10時00分～12時10分
- 場 所：信太の森ふるさと館、信太山丘陵市有地
- 受講生：参加者30名（一般参加者20名、既会員10名）
講師・スタッフ9名

前半は、「公園としての信太山丘陵市有地のテーマ・理念を共有する」として、藤原 宣夫氏（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻 教授）による講義が行われました。また後半は、保全活動の実施場所にて、三輪 健一郎氏（NPO 法人いずみの国自然館クラブ）による「公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ（実践）」についての講義が行われました。



講座 1.

藤原 宣夫氏（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻 教授）による「公園としての信太山丘陵市有地のテーマ・理念を共有する」

公園として、保全・活用する信太山丘陵市有地の経緯や公園の理念・方針、また信太山の里山環境の紹介や保全上の問題等について講義がありました。



藤原氏による講義



藤原氏による講義

講座 2.

三輪 健一郎氏（NPO 法人いずみの国自然館クラブ）による「公園づくりの基礎と安全管理を学ぶ（実践）」

保全活動の実施場所で、同時に行われていた実際の保全活動の見学が行われました。その後、器具や機械の安全な使い方が説明され、参加者が実際に刈払機を使う体験を行いました。参加者は慣れない機械に手こずりながらも真剣に取り組んでいました。



三輪氏による道具の使い方の説明



説明を聞く受講生



刈払機を体験する受講生



機械を使うのは意外に難しかったですが、貴重な体験ができて良かったです。

講座の感想を話す受講生

「信太山里山講座」第 2・3 回

- 実施日：7 月 30 日（日）
- 時 間：14 時 00 分～17 時 10 分
- 場 所：堺自然ふれあいの森
- 受講生：参加者 25 名（一般参加：7 名、
既会員：18 名）
講師・スタッフ 14 名

先進的に取り組まれている里山保全活動の事例として、「堺自然ふれあいの森」の見学を行いました。「堺自然ふれあいの森」の指定管理者の構成団体である NPO 法人「いっちゃんクラブ」より、現地を歩きながら、里山保全活動の取組を紹介して頂きました。その後、活動拠点である「森の館」にて、「NPO 法人いっちゃんクラブのあゆみと活動を学ぶ」についての講義が行われました。



講座 1.

福田 壤嗣氏（NPO 法人いっちゃんクラブ）による「里山活動事例見学」

現地を巡りながら、各ゾーンで異なる里山の保護の方法や、イベント等での活用について説明して頂きました。階段等の作り方について、参加者から福田氏に質問する姿もみられました。



福田氏によるクロバイ育成区の説明



手作りの階段



手作りの看板



手作りのベンチ



子どもが樹木観察を行う場として活用する広場



見はらし広場



アカマツ再生区



収穫体験等を行う畑

講座 2.

福田 壤嗣氏（NPO 法人いっちゃんクラブ）による「NPO 法人いっちゃんクラブのあゆみと活動を学ぶ」

里山の保護、活用、復元方法について、当初の計画から段階を踏んで進められてきた活動の変遷について説明して頂きました。また、参加者からの質問により、管理運営の体制についても紹介頂きました。これから整備を進めていく信太山にとって、今後の活動の参考になりました。



福田氏による講義



森の館で行われた講義の様子

④「信太山里山講座」第 4 回

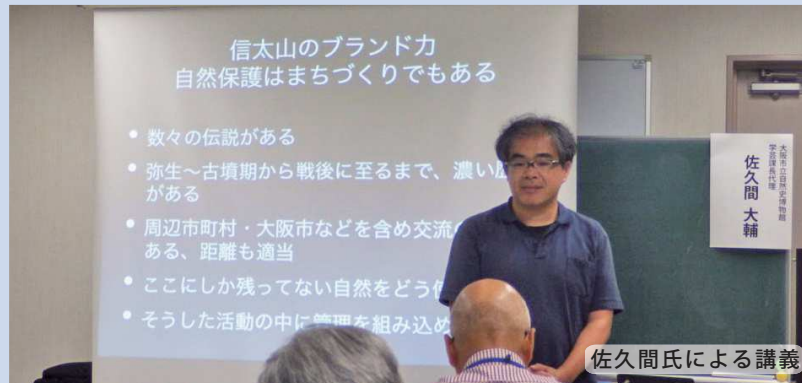
- 実施日：9 月 18 日（月・祝）
- 時 間：14 時 00 分～16 時 00 分
- 場 所：信太の森ふるさと館
- 受講生：参加者 15 名（一般参加 3 名、既会員 12 名）
講師・スタッフ 11 名

前半は、「丘陵地における植生及び自然・文化・歴史を学ぶ」として、丘陵地の生物群集の景観生態学的研究を専門とする佐久間 大輔氏（大阪市立自然史博物館学芸課長代理）による講義が行われました。また後半は、実際に保全活動に長年取り組んでおられる田丸 八郎氏（NPO 法人信太の森 FAN クラブ）による「保全活動のための湿地とふれあう際の心がけ」についての講義が行われました。

講座 1.

佐久間 大輔氏（大阪市立自然史博物館学芸課長代理）による「丘陵地における植生及び自然・文化・歴史を学ぶ」

信太山の地形の成り立ち、湿地の成り立ち、暮らしと里山の関係など、これらの歴史を知ることが、維持管理の方法を知ることにつながるという説明して頂きました。また、今後信太山の魅力を発信していくためには、地域と一体的に取り組んでいくことが必要であるとのアドバイスを頂き、その方法について参加者から佐久間氏に質問する姿もみられました。



講座 2.

田丸 八郎氏（NPO 法人信太の森 FAN クラブ）による「保全活動のための湿地とふれあう際の心がけ」

田丸氏がこれまでに長年保全活動に取り組んできた経験を踏まえ、希少な湿地の特徴や取り扱い方、活動の際に気をつけること等について説明して頂きました。



平成 29 年度「信太山里山講座」第 5 回の実施報告

「信太山里山講座」第 5 回

- 実施日：10月14日（土）
- 時 間：9時00分～12時00分
- 場 所：信太の森ふるさと館、信太山丘陵市有地
- 受講生：参加者17名（一般参加者：4名、既会員：13名）
講師・スタッフ10名

「里山活動や公園づくりの楽しさを伝える手法について学ぶ」として、大阪府南河内郡で里山の保全活動を実践している寺川 裕子氏（NPO法人里山倶楽部）による講義が行われました。



講座

寺川 裕子氏（NPO法人里山倶楽部）による「里山活動や公園づくりの楽しさを伝える手法について学ぶ」

前半は、信太山丘陵市有地を巡りながら、自然観察を楽しむ方法についての講義がありました。観察のヒントが書かれたシートを使った自然観察や、採取した木の葉・ササを使ったリースづくりを体験しました。

後半は、里山活動や公園づくりの楽しさを伝える方法として、NPO法人里山倶楽部の事例を紹介する講義がありました。その後、「信太山丘陵市有地の公園づくりに向けてあったらよいもの」についてワークショップが行われ、ベンチ、望遠鏡がある展望台、植物の樹名板など、参加者から活発に意見が挙がりました。



寺川氏による観察シートの説明



シートに記入しながら観察する参加者



寺川氏によるリースづくりの説明



リースをつくる参加者



完成した作品



寺川氏による講義



公園づくりに向けたワークショップ

終了式

この日は、平成 29 年度「信太山里山講座」の最終日でした。全課程を修了された方に、和泉市信太山丘陵市有地公園協議会より「修了証書」をお渡ししました。平成 29 年度の修了生は 7 名です。



和泉市信太山丘陵市有地公園協議会副会長 藤原氏による終了証書の授与



掛け声による締めくくり